

届出外排出量の推計方法に関する補足説明資料（新旧対照表）

1. 6月の意見募集の際に修正した事項

| 修正箇所 | | (旧) | (新) |
|----------------|-----------------------------------|------------|---|
| 66 頁 | 補助剤として第一種指定化学物質を含む農薬種類とその含有率(その1) | (記述の追加) | 表題上に「本表は、含有率データが入手できた農薬種類のみを示すもので、出荷された農薬種類を網羅的に示すものではない。」との記述を追加。 |
| 190 頁 | 表 1 6 - 4 | (記述の統合・追加) | No.11「A300-B2K-3C」と、No.12「A300-B4-2C」を統合し、以下番号をひとつ繰り上げ。No.40「BN2B-26」を追加。 |
| 193 頁 | 表 1 6 - 5 | | 同上 |
| 195 ~ 197 頁 | 表 1 6 - 7 | | 同上 注 2 を追加 |
| 201 頁 | 表 1 6 - 9 | | No.11「A300-B2K-3C」と、No.12「A300-B4-2C」を統合し、以下番号をひとつ繰り上げ。No.40「BN2B-26」を追加。 No.14「A320」の使用時間を45分から30分に修正 |
| 211 頁 | 表 3 | (数値の変更) | 190 ~ 201 ページの上記修正を、航空機の推計に反映 |

修正箇所は資料 1 - 6 により表示

2. 意見募集の結果を踏まえて修正する事項

| | 修正箇所 | (旧) | (新) |
|-----------|--------------------------------|---|---|
| 34 頁 | 表 2-1 の | 各都道府県における農薬全体の需要分野 (37 区分) 別の関連指標の値 | 各都道府県(及び全国)における農薬全体の需要分野 (37 区分) 別の関連指標の値 |
| 35 頁 | 「推計の考え方」の 5 行目以降 | (記述の追加) | (略) 37 区分と細かく設定した(表 2-3)。 なお、産業連関表(延長表)では最新年度の需要割合データが得られないため、平成 13 年度排出量の推計にあたっては、各需要分野に関連する指標(最新年度のデータが得られる統計データ)によってそれぞれ年次補正し、それによって最新年次における需要割合を推計することとする。 |
| 42 頁 | 図 2-3 | (産業連関表(延長表)の年次補正のフローを追加) | 以下の二つの項目を追加 ・ 全国における農薬全体の需要分野 (37 区分) 別の関連指標の値(伸び率) ・ 全国の最新年度における農薬全体の需要分野 (37 区分) 別の「仮出荷量」(t/年) |
| 58 頁 | 上から 4 行目 | (略) 収集した 1,220 種類のうち <u>225</u> 種類(約 18%)であった。 | (略) 収集した 1,220 種類のうち <u>224</u> 種類(約 18%)であった。 |
| 58 頁 | 表 2-17 | 10184 DDVP くん蒸剤 9 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) 10184 DDVP くん蒸剤 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | (削除) |
| 59 頁 | 表 2-18 | 9 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | (削除) |
| 59 頁 | 表 2-18 | 「くん蒸剤」の縦の合計 1 3 | 「くん蒸剤」の縦の合計 1 1 |
| 66 頁 | 農薬に関する補足説明資料 3 (その 1) | 10184 DDVP くん蒸剤 | (1 行削除) |
| 66 ~ 71 頁 | 農薬に関する補足説明資料 3 (その 1) ~ (その 6) | 9 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | (2 列削除) |
| 71 頁 | 農薬に関する補足説明資料 3 (その 6) | (記述の追加) | 注 5 : DDVP くん蒸剤(農薬種類コード : 10184)には樹脂の可塑剤として第一種指定化学物質が含まれているが、可塑剤の環境中への排出の実態については、知見が得られていないため推計の対象外とし、本表から除外した。 |

| | | | |
|------|-----------|--------------------------|---|
| 81 頁 | 下から 4 行目 | (記述の追加) | <u>なお、産業連関表(延長表)では最新年度の需要割合データが得られないため、平成 13 年度排出量の推計にあたっては、各需要分野に関連する指標(最新年度が得られる統計データ)によってそれぞれ年次補正し、それによって最新年次における需要割合を推計することとする。</u> |
| 83 頁 | 図 3 - 2 | (産業連関表(延長表)の年次補正のフローを追加) | 以下の二つの項目を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国における需要分野別の関連指標の値(伸び率) ・ 細分化した需要分野別・対象物質別の最新年度の全国排出量(t/年) |
| 90 頁 | 下から 10 行目 | (記述の追加) | <u>なお、産業連関表(延長表)では最新年度の需要割合のデータが得られないため、平成 13 年度排出量推計にあたっては、各需要分野に関連する指標によってそれぞれ年次補正し、最新年度の需要割合を推計することとする。</u> |
| 97 頁 | 図 4 - 1 | (産業連関表(延長表)の年次補正のフローを追加) | 以下の二つの項目を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の需要分野別の関連指標の値(伸び率) ・ 細分化した需要分野別・対象物質別の最新年度の全国出荷量(t/年) |

修正箇所は資料 1 - 6 により表示